

公益社団法人 いがた被害者支援センター

# 支援センターだより

2013年7月 第14号



## 途切れのない被害者支援を目指して

新潟県警察本部警務部警務課長 齋藤卓也

警察は、県民の生命、身体、財産の保護を大きな任務としています。犯罪被害者の方にとっては、被害直後から関わりを持つ機関となります。その意味では、最も身近な存在であると言えます。被害回復のために捜査を行い、犯人を検挙することは勿論ですが、被害を受けたことで生じる様々な二次的被害の早期回復、軽減を図るため、被害者支援に取組むことは、警察の基本的任務のひとつです。

直接的被害によって、精神的ショック、身体的変調、経済的困窮を招いたり、過熱報道や周囲の心ない噂話によってストレスを受けたりします。しかも、こうした状態は、長期間に渡って被害者自身やその家族までも苦しめる結果となります。警察では、被害者の方の個別の事情をくみ取りながら支援を行うことを基本方針として取組んでいます。

しかし、警察における被害者支援は、事件捜査に協力していただくことで生じる二次的被害をケアする側面があり、体制的な事情もあって、必ずしも長期的、継続的な支援が困難な場合があります。被害者の方が支援を受けることは、人間本来の権利と言え、被害に遭う以前の平穏な生活を少しでも取り戻すために、被害者の方のニーズに沿って継続的に行われることが、被害者支援に関しては一番重要な点です。

いがた被害者支援センターは平成18年にNPO法人として発足し、一般社団の法人格の取得、公益認定を経て、平成23年3月15日に新潟県公安委員会の指

定を受け、犯罪被害者等早期援助団体としての活動が3年目を迎えました。警察から援助に必要な情報が提供されることによって、犯罪発生直後から被害者に寄り添い、能動的にアプローチすることができます。支援対象は、故意の犯罪被害を全てカバーし、相談活動、捜査の各段階での付添いや説明、弁護士やカウンセラーの一部無償制度、家事支援など民間ベースの支援がメニューになっています。被害者の方が抱える多様なニーズに柔軟にしかもきめ細かく対応することができます。

現状では、いがた被害者支援センターは、財政基盤の強化、支援体制の充実やキャリアアップなど、中・長期的課題を抱えているものの、ボランティアの支援員の方々の尽力に支えられて、活発な支援活動を展開しております。犯罪被害者等早期援助団体としての公的認証を得たことで、社会的信用も高まり、被害者の方は安心して支援を求めることができるようになったはずで

す。被害者支援は息の長い活動です。更に、被害者の方の心理状態やニーズはその時々で微妙に変化するものです。適時適切な支援を実施するには、関係機関・団体との連携や情報共有が不可欠です。新潟県警察といがた被害者支援センターが、これまで以上に連携を深め、被害の軽減と早期回復に繋がるよう、被害者の方のニーズに応じた質の高い支援に努めたいと考えています。

**長岡、上越地区に相談電話が新設！！新潟地区と合わせ3本の相談電話となりました。**

新設

長岡地区 ☎ 0258-32-7016  
上越地区 ☎ 025-522-3133  
新潟地区 ☎ 025-281-7870

- 相談日 月～金  
(祝日・年末年始は除く)
- 相談時間 10時～16時

秘密厳守・相談無料

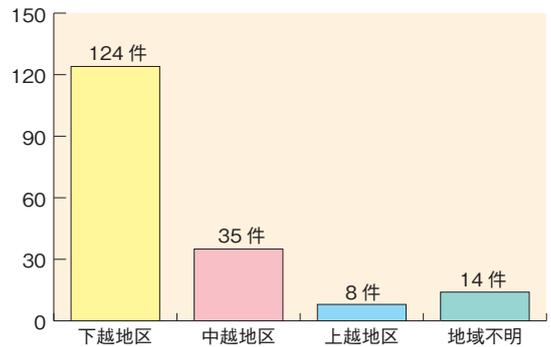
研修を積んだ相談員が対応します。

# 平成24年度支援活動状況

## ● 活動件数

区 分	24年度	23年度	22年度
電話相談	181	143	136
面接相談	24	18	25
直接的支援	367	152	147
犯罪被害者等給付金申請補助	1	0	0
自助グループ支援（参加人数）	22	21	21

## ● 平成24年度地域別電話相談181件の内訳



## ● 平成24年度地域別電話相談

下越地区	中越地区	上越地区	地域不明	合 計
124	35	8	14	181

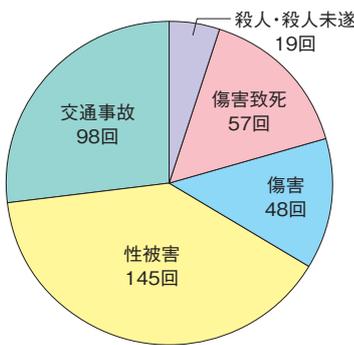
## ● 電話相談に対する対応

種 別	件 数	内 訳
相談（傾聴）のみ	102	
相談（傾聴）+他機関紹介	60	警察13、法テラス9、弁護士会1、日弁連事故相談3、消費生活センター10、県交通相談7、県女性福祉相談2、女スペース1、ウイメンズサポートセンター1、県医療相談1、県健康福祉相談1、法務局1、労基署2、市国保課1、損保自動車保険センター2、健保協会1、DV相談ナビ1、市労働相談2、家裁1
面接へつなぐ	6	
他機関紹介のみ	5	消費生活センター2、警察1、司法書士会1、家裁1
その他	8	問い合わせ回答
計	181	

## ● 直接的支援の内訳（支援活動の累計数）

殺人・殺人未遂	傷害致死	傷 害	性被害	交通事故	計
19	57	48	145	98	367

## ● 直接的支援の内容（支援合計367回）



## ● 直接支援、支援合計367回の具体的支援内容

支援内容	件数	具体的支援内容
裁判関連	23	裁判傍聴付添い、代理傍聴等
警察関連	1	警察付添い
検察庁関連	1	検察付添い
弁護士相談	20	弁護士相談付添い
行政等関係機関	94	保護観察所、刑務所等付添い、行政窓口連絡調整等
病院・臨床心理士	6	臨床心理士カウンセリング付添い・紹介
生活支援	2	家事手伝い等
訪問面接	8	自宅等訪問面接
直接支援のための面接	13	センターでの面接相談
その他	199	被害者・遺族への情報提供等
合 計	367	

## ● 24年度自助グループ活動（交通事故遺族）

区 分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	計
参加人数	4名	5名	3名	1名	4名	5名	22名

### 24年度の傾向と特徴

電話相談で3年ぶりに増加に転じた（前年比37件増の181件）。地域別の相談では圧倒的に下越地区の相談が占める。県下におけるセンターの認知度が低く、下越、新潟市周辺に集中していることから、25年度は6月より長岡、上越地区に相談電話を新設し、マスコミ・行政を通じて広報を行い広く相談できるよう体制強化を図っています。24年度の特徴は直接支援が前年比215件増の367件と大幅増、その要因は「犯罪被害者等早期援助団体」の指定を受けて以来、警察からの情報提供が寄与している。自助グループ活動は5年を経て着実な参加をいただいています。



..... 25年度養成講座開催 .....

新たに17名が「支援活動員 採用時養成講座」を受講中

平成23年の春に犯罪被害者等早期援助団体に指定されて以来、県警の犯罪被害者支援室からの情報提供も増え、直接支援の数も増えてきました。それに伴い、今年度は新たに支援活動員を募集いたしました。行政や報道機関の協力を頂き、17名の方が応募され、今、養成講座を受けておられます。延べ13日（39時間）の講座を受けることはたやすいことではありませんが、皆さん志高く頑張っておられます。

また、支援活動員は継続講座を毎月受講し、かつ直接支援活動を希望するものは直接支援研修を年に5回受けます。このようにして相談者のニーズに沿った支援を的確に行うため、支援活動員としての能力と自覚を保てるよう日々研鑽を重ねています。



平成25年度 支援活動員 採用時 養成講座予定表 公益社団法人 いがた被害者支援センター

I 支援活動員養成講座（基礎編）

番号	実施日	時間	研修内容	講師等	会場
1	6月14日(金)	30分	受付 開講式、オリエンテーション、センターの概要～沿革、事業内容	理事長、専務理事、 支援局長、事務局	新潟ユニソンプラザ 小研修室2
		90分	被害者の支援とは～被害者支援の歩みと被害者支援の意義・犯罪被害者等基本法・基本計画	専務理事	
		60分	行政・司法における支援		
2	6月21日(金)	60分	被害者の声を聞く	支援局長 臨床心理士	新潟ユニソンプラザ 小研修室2
		60分	被害者の状況①～被害者の抱える状況		
		60分	被害者の状況②～二次被害・被害者への関わり方の留意点		

II 支援活動員養成講座（初級）

番号	実施日	時間	研修内容	講師等	会場
3	6月28日(金)	60分	警察の被害者支援と連携～●犯罪被害者等給付金、●犯罪被害者等早期援助団体	県警被害者支援室	新潟ユニソンプラザ 小研修室2
		60分	行政の役割と連携～●被害者支援窓口、●条例等	県民生活課	
		60分	刑事手続きの流れと被害者の関わり	弁護士	
4	7月5日(金)	90分	支援に関わる機関・団体～●種類と役割	支援局	新潟ユニソンプラザ 特別会議室
		90分	社会資源の活用～●社会保障・制度、●ソーシャルワーカーの役割	社会福祉士	
5	7月12日(金)	60分	法テラスにおける支援	弁護士 検察庁	新潟ユニソンプラザ 小研修室2
		60分	弁護士の被害者支援と連携		
		60分	検察庁の被害者支援と連携～●被害者ホットラインほか		
6	7月19日(金)	60分	被害項目別被害者の理解と支援①～殺人（含殺人未遂）、傷害	県警被害者支援室	ハート館 午前9:00～12:00 (注1)
		60分	被害項目別被害者への理解と支援②～●性被害		
		60分	被害項目別被害者への理解と支援③～●DV、ストーカー、セクハラ		
7	7月26日(金)	60分	被害項目別被害者への理解と支援④～●交通事犯	県警被害者支援室	新潟ユニソンプラザ 小研修室4
		60分	被害項目別被害者への理解と支援⑤～●財産犯的被害（オレオレ詐欺・サイバー詐欺）、●対人関係		
		60分	児童虐待 少年犯罪		
8	8月2日(金)	60分	被害者の精神状況と対応～●PTSD・ASD、●パニック障害・過呼吸	精神科医	新潟ユニソンプラザ 小研修室2
		120分	リスニング技術～ロールプレイ	臨床心理士	
9	8月9日(金)	60分	電話対応(ワーク)～●基本的応答、●ニーズの把握	臨床心理士	新潟ユニソンプラザ 特別会議室
		120分	電話対応 ●ロールプレイ		
10	8月23日(金)	60分	ボランティアとしての姿勢～●倫理	支援局	ハート館 (午前9:00～12:00)
		60分	情報提供		
		60分	組織のあり方～●法人、●情報管理		
11	8月30日(金)	60分	直接支援の基本と留意点①	支援局	新潟ユニソンプラザ 小研修室2
		60分	直接支援の基本と留意点②		
		60分	日常生活支援～●自宅訪問、家事手伝い支援等		
12	9月6日(金)	60分	被害者支援における心理教育	臨床心理士	新潟ユニソンプラザ 小研修室4
		60分	被害者の声	支援局	
		60分	自助グループ	支援局長、被害者	
13	9月13日(金)	60分	自分に気づく演習～支援者としてのパーソナリティ	臨床心理士	新潟ユニソンプラザ 小研修室4
		60分	支援者のメンタルヘルス～●ストレスと二次受傷		
		60分	意見交換会		

注1： 講座予定時間は、午後1：30～4：30までの3時間。（8月23日のみ午前9:00～12:00）

注2： 講座内容及び講師は、諸般の事情により変更することがある。

## 総会報告&決算、顧問・役員名簿

### ●総会報告

5月30日(木)午後新潟会館において、平成25年度公益社団法人にいがた被害者支援センター定時社員総会を開催しました。

#### ●第1号議案 役員を選任について

新たに遠藤修司氏、落合光雄氏、武井楨次氏の3名が理事に選任されました。

なお、社員総会後に開催された臨時理事会において、辞任した甲野勝機専務理事の後任に武井楨次氏が専務理事に決定しました。

#### ●第2号議案 平成24年度決算報告について

- 報告事項 (1)平成24年度事業報告について
- (2)平成25年度事業計画及び収支予算について
- (3)顧問の再任について

以上の議案及び報告事項は、全て承認されました。



### 平成24年度決算報告 平成24年4月1日～平成25年3月31日

単位：円

科目等	金額
受取会費	5,646,000
事業収益	1,846,000
受取補助金	830,000
受取寄付金	3,400,524
その他	312,989
経常収益 計	12,035,513
事業費	
相談、直接支援、自助グループ支援活動費	4,094,755
広報啓発事業費	2,808,514
研修・育成事業費	1,609,283
小計	8,512,552
管理費	
人件費	2,918,304
管理事務費	973,905
小計	3,892,209
経常費用 合計	12,404,761
一般正味財産期末残高	1,729,897
指定正味財産期末残高	8,970,869
正味財産期末残高	10,700,766

#### 顧問名簿

泉田 裕彦	新潟県知事
砂川 俊哉	新潟県警察本部長
篠田 昭	新潟市長
森 民夫	新潟県市長会 会長
渡邊 廣吉	新潟県町村会 会長

#### 役員名簿

理事長	川上 耕	弁護士／元法テラス新潟地方事務所所長
専務理事	武井 楨次	元新潟大学人文学部教授
理事	運上 司子	元新潟県臨床心理士会会長
理事	遠藤 修司	新潟県商工会議所連合会専務理事
理事	大島照美子	新潟県女性財団理事長
理事	佐野 英孝	新潟県精神科病院協会副会長
理事	澁谷志保子	元社会福祉法人新潟いのちの電話事務局長
理事	関 昭一	新潟青陵学園理事長
理事	高野 義雄	弁護士
理事	橋 玲子	新潟青陵大学大学院 臨床心理学研究科教授
理事	中曽根えり子	にいがた被害者支援センター事務局長／交通事故被害者遺族
理事	長塚 康弘	新潟大学名誉教授／新潟心理学会会長
理事	野口 祐郁	新潟県弁護士会／犯罪被害者支援対策委員会副委員長
理事	渡部 透	新潟県医師会会長
理事	落合 光雄	にいがた被害者支援センター事務局長
監事	金子 英明	税理士

### 新事務局長あいさつ

本年4月から事務局長としてお世話になっております落合と申します。前事務局長 宇田正様同様にご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



3か月余り勤務させていただきましたが、当センター支援活動員、相談員等による電話・面接相談のほか弁護士、臨床心理士及び裁判所の付添い等の直接支援活動において、各相談員等が温かく献身的に対応している様子を見て感動しているところです。当センターの支援活動が円滑に行われるよう微力ながら努めたいと思います。

どうかよろしくお願いいたします。

“話してみませんか あなたの せつない気持ち”

#### ●正会員名簿（平成25年6月1日現在）

##### ●団体正会員●

新潟県精神保健福祉協会、新潟県弁護士会、新潟県医師会、新潟県精神科病院協会、新潟県市長会、新潟県町村会、学校法人新潟青陵学園、新潟県交通安全協会、関東信越税理士会新潟県支部連合会

##### ●個人正会員●

藤巻強生、武井楨次、大木満子、宇田 正、遠藤和成、甲野勝機、青山勝二、二木 宏、小濱恵子、稲餅武雄、伊藤末松、池田久美子、中野節子、中曽根えり子、藤田正行、中村協子、中嶋久美子、澁谷志保子、津野恒子、島 典子、野上 博、坂井正人、高野義雄、高橋正利、渡部直子、貝瀬尚久、長塚康弘、運上司子、黒川 登、太田信子、平尾公子、橋 玲子、金子英明、饒村悠子、星野理香、川上 耕、滝沢尚以、小熊シヅ子、山後晴雄、北山桂子、真壁伍郎、大竹玲子、近藤麻美子、大島照美子、栗山 啓、小島 功、小林ひとみ、立川恭子、徳永英毅、渡部 豊、遠藤修司、落合光雄

# 協力者御芳名 (平成24年4月～平成25年5月) 順不同・敬称略

ご協力ありがとうございました。  
今後ともご協力をお願い申し上げます。

## 団体賛助会員

(社)新潟県解体工事業協会中越支部、(社)新潟県解体工事業協会上越支部、(社)新潟県解体工事業協会下越支部、(株)トーア、(株)新潟日報社、(財)新潟県自動車練習所、(社)新潟県バス協会、(株)渡大組、アドリテム司法書士法人社員・司法書士外山敦之、一般社団法人新潟県安全運転管理者協会、(社)見附市南蒲原郡医師会、三条市医師会、自動車安全運転センター新潟県事務所、新潟総合警備保障(株)、(株)古田組、(株)たいよう共済新潟支店、新潟県民共済生活協同組合、ネットヨタ越後(株)、(財)十日町地区交通安全協会、(社)新潟県警備業協会、新潟県司法書士会、新潟県電気工事工業組合、医療法人楽山会三島病院、羽深産業(有)、セコム上信越(株)、(株)新潟中央自動車学校、岩淵浩法法律事務所、弁護士法人砂田徹也法律事務所、(株)東光クリエート、新潟県自動車販売店協会、(有)セーフ・エス、村上市岩船郡医師会、マルソー(株)、(社)新潟県歯科医師会、(財)柏崎地区交通安全協会、越後交通(株)、公益財団法人新潟県暴力追放運動推進センター、長岡長生ライオンズクラブ、(有)石倉製麺所、(社)新潟県商工会議所連合会、医療法人谷澤整形外科クリニック、(株)一印上越魚市場、(有)新潟輸入タイヤ販売、(社)新潟市医師会、(株)あんフーズ新潟、新発田ガス(株)、新潟県警友会連合会、(株)勝島経営研究所ビジネスカウツシマ、阿賀町被害者支援ネットワーク、小林石油(株)、ダイセ歯科クリニック、県央加工協同組合、糸魚川ロータリークラブ、北越警備保障(株)

## 個人賛助会員

青柳芳郎、大矢傑、中村光春、中野誠、埴田忠嗣、富井和平、武井みよ子、和泉澤貞子、嵯峨トシ、小林和生、川名洋平、大川聡、山田ひろ子、高橋玲子、沖野節子、香田一男、堀川誠一、大倉憲吾、櫻井英喜、後藤直樹、長谷川進、久我正作、宮崎正夫、こども医院はしもと橋本謹也、高野優子、高野雅史、滝本友子、大湊弘幸、加地正樹、半藤千枝子、金子和子、金子哲、小島一則、鬼島基伸、五十嵐久、猪又勝、灰野博、江森謙太郎、堀博、佐野稲子、渡辺逸郎、渡辺雅直、小池進吾、櫻井春夫、金澤省子、池田正友、斎藤洋子、松岡キヨ、伊藤基子、高橋節子、五十嵐涼子、神立秀明、外立正紀、宮澤正雄、村山和子、皆川和秀、遠藤記恵子、押見清雄、藤田善六、半戸哲夫、関洋一、小林澄江、小林澄夫、片桐敏栄、中澤泰二郎、小出俊彦、酒井正昭、藤沢直子、栗山英雄・祥子、小田部正美、本岡武志、渡辺茂子、風岡征由、岸本正智、永倉税、永崎久人、佐藤敏子、長谷川虹兒、高岡光夫、鶴巻信朗、渡部信子、田中克幸、武村真理、菊池勲、今井千恵子、佐原菅一、丸山建築丸山敬治、丸山誠、佐野實、須貝恵吉、野上正、石塚誠一、相澤市郎、小野塚利信、佐藤幸示、青木和司、大塚智恵子、山崎幸雄、吉田耕二、築井一琢、金子修、石川伊作、細野紀雄、山田俊博、鈴木俊、野上信子、小林光一、本田恭子、田村いずみ、根津明子、庭野トシエ、庭野カツ、大島榮一、田中宏子、澤村陽一、諏佐恭一、工藤和雄、小嶋謙一、佐藤一明、品田宏夫、西脇秀樹・圭子、吉澤恒夫、串田重男、田中稔、石原護、相馬清吉、野口祐郁、田下厚子、古川明子、(株)オアシス稲葉摩利子、小湊文隆、市嶋範恵、諸橋義知、青木優一、大浦研二、吉野美穂子、小田島美智子、金子直樹、小熊力、塩谷洋、

田辺章雄、小田中明子、榎本岩男、野沢成二、斎藤功、小黒睦弘、三原栄、石原博、和泉聡、吉越義雄、池田浩、十二勝・幸子、岡田茂憲、大島澄道、倉部未咲、稲田秀樹、薄田幸子、匿名希望1名

## 公安委員会・県警賛助会員

**公安委員会・警察本部** 新潟県公安委員会、新潟県警察本部長、機動隊、刑事総務課、交通規制課、教養課、機動捜査隊、捜査第一課、交通企画課、厚生課、警備第二課、生活保安課、情報管理課、交通指導課、留置管理課、新潟県警察学校、生活安全企画課、会計課、広報広聴課、監察官室、通信指令課、鑑識課、科学捜査研究所、総務課、捜査第二課、装備施設課、捜査第三課、地域課、鉄道警察隊、警務課、外事課、交通機動隊、運転免許センター、警備第一課、高速道路交通警察隊、組織犯罪対策第一課、組織犯罪対策第二課、情報通信部、少年課

**警察署** 村上署、小出署、津川署、佐渡西署、燕署、糸魚川署、阿賀野署、長岡署、新潟南署、柏崎署、小千谷署、新潟北署、妙高署、上越署、見附署、秋葉署、新潟西署、新潟東署、佐渡東署、江南署、五泉署、与板署、新潟中央署、胎内署、加茂署、西蒲署、新発田署、南魚沼署、三条署、十日町署

## 寄附者

三国コカ・コーラボトリング(株)新潟支社、三国フーズ(株)新潟営業所、イオンリテール(株)、富井和平、武井慎次、県央加工協同組合、遠藤和成、村松緑、中曾根豊、甲野勝機、中嶋久美子、佐藤直美、(社)新潟県安全運転管理者協会、松原通子、新潟南警察署、和田武次、運上可子、佐野稲子、辯護士小村隆、司法書士小出行雄、山本千鶴、大湊弘幸、有坂康治、藤田美沙、塩谷洋、藤巻元雄、植木ひろ子、神立秀明、押見清雄、山川廣之、五十嵐広幸、弁護士中澤泰二郎、佐藤敏彦、大道寺雅夫、渋谷和子、医療法人社団太白会田辺医院、フォークダンスサークルあいくつ、佐藤敏子、山崎堅輔、高岡光夫、高橋フミエ、金子一郎、山本陽子、県警察学校初任科第376期短期課程卒業生一同、県警察学校初任科第376期第一学級卒業生一同、(有)藤田豊商店、島典子、高山正成、小池清、北山桂子、国際ロータリー第2560地区鈴木ガバナー事務所、(株)村建運輸、菊池勲、高野・星野法律事務所、阿部政志、高野義雄、飯塚真理子、丸山昌治、川上耕、(株)鈴木造園、鈴木重亮、長岡長生ライオンズクラブ、熊林薫、田伏智、吉野美穂子、星野理香、野口祐郁、長岡柏ライオンズクラブ、小山晴代、(株)大光銀行、伊藤秀夫、弁護士法人砂田徹也法律事務所、森川医院森川重文、正木宏、井口睦子、藤田善六、山崎隆夫、大湊弘幸、平澤幸二、県警察学校初任科第376期長期課程卒業生一同、新潟県民共済生活協同組合、弁護士法人新潟第一法律事務所、新発田ライオンズクラブ、青木優子、長岡西ロータリークラブ、県警察学校初任科第377期短期課程卒業生一同、長岡ロータリークラブ、白根ロータリークラブ、室橋喜美子

\*誤字・脱字等がございましたら、お手数ですが事務局までお知らせください。

## 税法上の 優遇措置について

当センターへの賛助会費、寄附金は、特定公益増進法人に対するものとして、所得税、法人税等税制上、寄附優遇措置の対象になります。また、特に個人の方からの賛助会費、寄附金は、税額控除制度の対象になります。

## 賛助会員募集・ 寄附金のお願い

当センターの活動は、皆様からの賛助会費や寄附金に支えられています。皆様の温かいご支援・ご協力をお待ちしています。

**年会費** ●個人賛助会員/1,000円 ●団体・法人賛助会員/10,000円  
※一口以上何口でも加入いただけます。

## お振込先(郵便振替口座)

●口座名義：公益社団法人 いしがた被害者支援センター  
●口座記号番号：00530-1-84482

支援センターだより 第14号(平成25年7月)  
編集・発行：公益社団法人  
にいがた被害者支援センター  
事務局：〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-3  
新潟ユニゾンプラザハート館  
TEL・FAX 025-281-2131  
E-mail:nvsc7870@able.ocn.ne.jp  
http://www.n-vsc.jp/